

## 教育研究業績概要

氏 名 谷出 早由美 ( )				
研究分野		所属学会等の名称		
感染症、健康づくり、保健師育成に関する研究		日本公衆衛生学会、三重県公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本環境感染学会		
<b>担当授業科目名</b> 生活習慣とヘルスプロモーション、公衆衛生看護展開論、公衆衛生看護管理論、災害看護論、看護ゼミナールⅠ、公衆衛生看護学実習、統合実習、看護の統合Ⅰ、看護の統合Ⅱ、公衆衛生学・疫学、公衆衛生看護学概論				
<b>教育上の能力に関する事項</b>				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 「授業で工夫している事」	2020年	地域における公衆衛生看護活動に関して、より具体的に、より実践的に理解できるよう工夫する。また、保健師の役割がイメージできるよう示す。		
2 作成した教科書、教材、指導書等 「わかりやすい社会福祉・社会保障」	2003年2月5日初版	「行政における看護活動例と社会福祉・社会保障」精神分野 出版社：ヌーベルヒロカワ Page153～Page158		
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等 三重県立看護大学講師 任命権者：三重県立看護大学長	2018年～現在	「公衆衛生看護方法」		
<b>職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項</b>				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等	1981年 1982年 1998年 2019年 2020年	看護師免許 保健師免許 Diploma in of Public health（国立公衆衛生院）資格 日本公衆衛生学会「公衆衛生専門家」認定 日本公衆衛生協会会長表彰		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等	2017年～2019年 2017年～2018年 2016年～2020年	三重県看護協会保健師職能理事 三重県小児保健学会理事 三重県公衆衛生協会地区理事		
<b>研究業績等に関する事項</b>				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) ・ ・ ・				
(報告書等) ・ ・ ・				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) ・「三重県における学校、保育園サーベイランス全県導入の取り組み」		谷出早由美、谷口清洲、岡部信彦他3名		健康安全・危機管理対策総合研究事業 「健康危機事象の早期探知システムの実用化に関する研究」分担研究報告書（2011年3月）Page149～Page153
・「三重県における学校、保育園サーベイランス全県導入の取り組み」		谷出早由美、安井良則、谷口清洲他4名		健康安全・危機管理対策総合研究事業 「健康危機事象の早期探知システムの実用化に関する研究」分担研究報告

<p>・「新型インフルエンザ等発生時における予防接種の円滑な実施に関する研究」</p>	<p>岡部信彦、田辺正樹、<u>谷出早由美</u> 他 6 名</p>	<p>書 (2012 年 3 月) Page103～Page106          新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業報告書 (2015 年 3 月)</p>
<p>(学会発表等)</p> <p>・糖尿病患者の行動変容因子に関わる評価の検討</p> <p>・伊勢志摩サミットにおける感染症対策を中心とした健康危機管理体制構築の考察について</p> <p>・同一感染源と考えられる複数の結核患者発生事例と分子疫学的解析結果について</p>	<p><u>谷出早由美</u>、櫻井しのぶ</p> <p><u>谷出早由美</u>、平岡稔、谷口清洲 他 1 名</p> <p>原有紀、<u>谷出早由美</u>、中山治他 5 名</p>	<p>第 68 回日本公衆衛生学会総会抄録集 Page375, P0304-32・2009 年・奈良県</p> <p>第 76 回日本公衆衛生学会総会抄録集 Page603, P-1305-9・2017 年・鹿児島県</p> <p>第 71 回三重県公衆衛生学会総会抄録集 Page26～Page27・2019 年・津市</p>
<p>(その他)</p> <p>「ワクチン接種率の低い団体に関連した麻疹アウトブレイクへの対応について</p>	<p><u>谷出早由美</u>、中山治他 13 名</p>	<p>国立感染症研究所病原微生物検出情報 (IASR) Vol. 40 No. 8 (NO. 474)</p>